

## 園長だより「みんな、花丸です」お楽しみ会特別号

12月3日（土）と10日（土）に「お楽しみ会」を実施いたしました。子ども達の笑顔と保護者の皆様のご理解ご協力のおかげで大きな事故もなく実施することができました。ありがとうございました。

ほし組にとってはお楽しみ会デビューになりました。私は子ども達がかっと緊張するのかなと思っていたのですが……。皆さんはどのように感じられましたか。ほし組の子ども達はあふれる笑顔でステージに登場し、中には保護者の皆さんに手を振る余裕のあるお子さんもいました。余裕があるなあ。私は何度も練習に取り組んでいる子ども達の姿を見てきましたが、リハーサルをしているときの方が余裕がなかったように思います。でも、子どもって案外そうなんです。小学校の運動会でもそうでした。練習の時は成功率の低かった5段ピラミッドが本番ではしっかりできたりするものです。本番当日は子どもなりに「頑張るぞアドレナリン」が出るのだと思います。

今年は緊張知らずで余裕のあったほし組の子ども達。来年度のお楽しみ会が今から楽しみです。ただ、色々なことがわかってくると逆に本来の「緊張」するということを体験するようになります。これもほし組の子ども達にとっては大きな成長の証になると思います。

そら組の子ども達にとっては2度目の「お楽しみ会」でした。皆さんはどのように感じられましたか。昨年度と比べていただくことで子ども達の成長した姿を感じていただけたのではないかと思います。歌も楽器あそびも劇あそびも昨年度とは明らかにパフォーマンスレベルがあがっていますよね。歌声も楽器演奏も劇の演技も素晴らしかったです。

ただ、個人差はありましたが全員がずいぶん緊張していました。たくさんの人の前に出ると緊張してしまう。皆さんもきつのご経験があると思います。周りの人から「緊張しないでいいよ。」なんて言われてもそれは無理なこと。色々なことがわかればわかるほど、つまりこどもたち成長すればするほど緊張するようになるものです。もちろん子ども達は何度も緊張を経験していく中でそれをコントロールしようと努力します。

今回のお楽しみ会で子ども達はその緊張の中で、それを乗り越え、やり切った時に大きな達成感や満足感を味わえたと思います。さらに皆さんから称賛の拍手をもらったり、お家で褒めてもらったりすることで子ども達の達成感・満足感は増幅されます。それは子ども達の自己肯定感を高め、子ども達が生きていく上でとても大切な「自尊心」を育てていくことになるのです。幼い子ども達にとって身体面や学力などのように数字で表される部分も大切ですが、数字で表すことのできない心の成長は極めて重要です。子ども達一人一人の心のベースにしっかりとした自尊心を育てていくことも私たちの大切な使命の一つだと思っております。

ゆめ組の子ども達にとっては保育園で最後のお楽しみ会になりました。鍵盤ハーモニカの演奏・楽器あそび・歌・劇あそび。お子さんの頑張る姿、成長した姿を目の当たりにして

保護者の皆さんにとっては感慨深いものがあったのではありませんか。どれもゆめ組にふさわしい立派なパフォーマンスだったと思います。でも私が本当にさすがだなと思ったのはご挨拶でも申し上げましたが、子ども達の「揃える」という意識が高かったということです。素晴らしいパフォーマンスの間、間が見事に揃っていました。登場するとき・退場するとき、そして歌い始める前、歌い終わった後、演奏をしようとする前、そして演奏後。みんなが揃っていたということです。良い姿勢を保ったり、演奏前と後に不必要な音を出さない。このためには一人一人が「みんなでがんばろう」「いいパフォーマンスを見てもらおう」という気持ちが必要です。ゆめ組の子ども達がみんなこんな気持ちでお楽しみ会に取り組んでくれたということですね。気持ちが揃っていたということです。

「揃える」これは来年の4月から小学生になるお子さんにとって、とても大切な学びの基礎基本になります。人間は本来、自分本位で勝手なもの。誰だってやりたいことだけを自分のペースで続けていきたいものです。でも、いつまでもそういうわけにはいきません。

子ども達は成長するにつれて「揃える」ことの大切さを知るようになります。周りを見ることができるようになったり、少しずつ空気を読めるようになったりするのです。今、自分は何をしなければいけないのか。どうあるべきか。これを判断できるようになるというのは子ども達にとって大きな成長です。

城東ちどり保育園はこれからも「揃える」「整える」ということを大切にして、保育・教育を進めていきたいと思えます。

私は小学校で学芸会や学習発表会を何度も見てきましたが、今回初めて保育園の「お楽しみ会」を見せていただきました。練習を始めた頃から、リハーサル、そして当日のパフォーマンスまで見てきました。子ども達が練習を重ねていく中で、少しずつパフォーマンスレベルが高くなっていくのが良くわかりました。

今年度もお楽しみ会で子ども達の笑顔と成長を見ることができました。お楽しみ会を実施する教育的な意義はここにあると考えています。私は城東ちどり保育園の子ども達全員に大きな「花丸」をあげたいと思っています。

私は40年以上、子ども達と同じ時間・空間にいる仕事をしてきました。その40年間、ことあるたびに感じてきたことは「子どもは素晴らしい」ということです。子ども達に元気をもらい、笑顔をもらい……。自分が教えているつもりだったのに、結局は逆に子ども達に本当に大切なことを教えてもらっていたような気がしています。